

衆議院内閣委員会ニュース

平成 30. 5. 23 第 196 回国会第 19 号

5 月 23 日（水）、第 19 回の委員会が開かれました。

1 環太平洋パートナーシップ協定の締結に伴う関係法律の整備に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 62 号）

- ・茂木国務大臣、岡本外務大臣政務官、上月農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・大河原雅子君（立憲）及び塩川鉄也君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、公明、維新 反対一立憲、国民、無会、共産、自由）

（質疑者及び主な質疑内容）

宮本徹君（共産）

- ・平成 29 年 10 月の日米経済対話において、日本は米国に対し F T A は結ばないと明言したのか、岡本外務大臣政務官に確認したい。
- ・ T P P の農林水産分野において、米国に譲歩したことを認めたかのような発言が安倍内閣総理大臣からあったが、茂木国務大臣も同様の認識か伺いたい。
- ・米国との新協定は F T A 交渉に位置付けられていないが、実際には F T A 交渉に向けた二国間協議が始まっていくことになるのではないか、茂木国務大臣に伺いたい。

玉城デニー君（自由）

- ・ T P P 11 による農林水産業への直接的な影響をどのよう

な方法で判断し、また、食料自給率向上に向けた具体的対策をどのように行っていくのか、政府に伺いたい。

- ・本法律案に関する関連業界団体との協議等において、どのような T P P の課題が示され、それに対する対策をどのように説明したのか、政府に伺いたい。

森山浩行君（立憲）

- ・ I S D S 条項を削除ではなく凍結とした理由を政府に伺いたい。
- ・ R C E P の交渉が停滞している理由を政府に伺いたい。
- ・食料安全保障としての農林水産業政策は、 T P P によって大きな影響を受けることになるかと考えるが、上月農林水産大臣政務官の見解を伺いたい。

2 ①ギャンブル等依存症対策基本法案（中谷元君外 7 名提出、衆法第 20 号）

②ギャンブル依存症対策基本法案（初鹿明博君外 10 名提出、第 195 回国会衆法第 6 号）

- ・提出者中谷元君（自民）及び初鹿明博君（立憲）からそれぞれ提案理由の説明を聴取しました。
- ・提出者中谷元君、佐藤茂樹君、中川正春君、岩屋毅君、梶屋敬悟君、浦野靖人君及び初鹿明博君並びに政府参考人並びに参考人樋口進君に質疑を行いました。
- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。

（質疑者及び主な質疑内容）

浜地雅一君（公明）

- ・ギャンブル等依存症は、多重債務、貧困、虐待、自殺、犯罪等と因果関係があるのか、医学的な観点から樋口参考人の所見を伺いたい。
- ・政府及び都道府県が定めるギャンブル等依存症対策推進基本計画等に、ギャンブル等依存症患者の減少に向けた数値目標を定めるべきと考えるが、①の法律案（以下「自民・公明・維新案」という。）の提出者の見解を伺いたい。

- ・ギャンブル等依存症対策に関する医療体制は今後どのように整備していくのかについて政府に伺いたい。

加藤鮎子君（自民）

- ・日本国内にギャンブル等依存症に陥っている人は、現在どの程度いるのか政府に確認したい。
- ・政府は、ギャンブル等依存症対策として、現在どのような取組を行っているのか確認したい。

- ・自民・公明・維新案の第 19 条に規定されている民間団体の活動に対する支援とはどのような取組を想定しているのか確認したい。

福田昭夫君（立憲）

- ・両案の違いについて、②の法律案（以下「立憲・無会・自由・社民案」という。）の提出者に伺いたい。
- ・ギャンブル依存症の治療はアルコールや薬物の依存症の治療と異なるのか、カジノという新たなギャンブルを設けることは医療に携わる立場から見てどのような影響があるかについて樋口参考人に伺いたい。

稲富修二君（国民）

- ・ギャンブル依存については予防が大事であるが、具体的にどのような予防策が考えられるのか、樋口参考人に伺いたい。
- ・ギャンブル依存症問題に関する教育について、具体的にどのような指導を行うつもりなのか、両案の提出者に伺いたい。
- ・医療提供体制及び相談支援の体制について、具体的にどのように整備していくのか、両案の提出者に伺いたい。

串田誠一君（維新）

- ・I R整備法案と自民・公明・維新案の関係について、提出者に伺いたい。
- ・自民・公明・維新案第 10 条について、ギャンブル等依存症問題啓発週間を 5 月 14 日から同月 20 日までとした理由について、提出者に伺いたい。

玉城デニー君（自由）

- ・立憲・無会・自由・社民案の基本理念における国又は地

方公共団体による監督及び取締りの強化について、自民・公明・維新案ではどのように規定しているのか、提出者に伺いたい。

- ・ギャンブル等依存症対策推進基本計画について毎年度検討を加えるべきと考えるが、自民・公明・維新案において少なくとも 3 年ごととした根拠を提出者に伺いたい。

中川正春君（無会）

- ・ギャンブルの種類により射幸性及び日常性は異なるが、それらを典型的に見た場合、それぞれのギャンブルの特徴について樋口参考人に伺いたい。
- ・アルコール依存、薬物依存及びギャンブル依存は、医療等における専門性が異なるため、施策の連携だけでなく特徴に応じた対策をとるという意味が提出者には必要であると考えますが、その点について自民・公明・維新案の提出者に伺いたい。
- ・ギャンブル等依存症対策推進関係者会議について、同会議における意見を政策に反映させるという前提があるのか、また、立憲・無会・自由・社民案における検討事項が自民・公明・維新案には入っていないが、今後どのような対応を行うか、提出者に伺いたい。

塩川鉄也君（共産）

- ・生涯を通じたギャンブル等の経験等を評価した場合、我が国及び諸外国におけるギャンブル依存症が疑われる者の割合について樋口参考人に伺いたい。
- ・平成 28 年の I R推進法案の審議の際の態度について、各会派の提出者に伺いたい。
- ・今後、カジノというギャンブルを解禁すれば、新たなギャンブル依存症者を生じさせることになるのではないかと考えるが、自民・公明・維新案提出者に伺いたい。